



伴学区 社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
住所 〒731-3164 安佐南区伴東7丁目64-8
電話 082-848-3277

健康ウォーキングゾーン

〜広島市が安川河岸沿いに整備

沼田合同庁舎裏の安川河岸沿いに広島市が「健康ウォーキングゾーン」を整えます。令和六年度中に一部区間が完成する予定。住民説明会が八月、沼田公民館であり、庁舎前の沼田公園と上流部の伴中央第一公園を含めた一帯の整備内容が明らかになりました。

高齢者福祉の一環であるウォーキングゾーンは、大原上橋―筏地橋の県管理する緑地に計画。転落防止柵（高さ一・一メートル）を設け、歩行者の安全を図ります。長さ二百三十メートル、幅三・五メートルの散歩道をアスファルトのカラー舗装。車止め、ベンチ（二カ所）も設けます。

お年寄りが気軽に安心して歩けるゾーンは、伴・大塚地区コミュニティ推進協議会が令和四年、地域主体のまちづくりビジョンで構想を広島市に提言しました。

本年度は右岸の庁舎西側から着工し、来年度に左岸へ。兩岸と二つの公園を含めた一帯の歩行路は約七百五十メートル。二年間の事業費は六、七千万円と説明しました。ビジョンに合わせて伴学区の関

係団体による健康づくり委員会が発足しました。みんなの善意銀行や町内会連合会も助成金の支援。お年寄りのフレイル（虚弱）やサルコペニア（筋力低下）対策に迫られる高齢化社会に向け、ウォーキングゾーンと公園を活用した健康増進に取り組みます。

住民説明会では、地元の大原町内会をはじめ関係団体から約四十人が出席し、地域整備課の担当者との意見を交わしました。委員長を務める伴社協の伴晴英会長は「地域のみなさんの理解を得て計画を前に進め、一日も早く実現したい」と述べました。

健康づくり委員会⇨伴学区社協、町内会連合会、伴地区民児協、伴学区老人クラブ連合会、社会福祉法人和楽会、沼田公民館、戸山・伴・大塚地域包括支援センター



カラー舗装のイメージ図



安川河岸緑地(大原上橋から望む)

第13回伴社協グラウンドゴルフ大会 3月2日開催

地域を思い 行動する勇気と喜び

とも福祉フェスタ2024開催

福祉のまちを支えるボランティアが交流する「とも福祉フェスタ2024」(実行委主催)が十月、沼田合同庁舎「火山館」で初開催。活動の喜びを百人余の客席に伝え、地域でつながる意義を分かち合いました。

社協、民児協、女性会と地域包括支援センターなど共催。シンポジウムを軸に意見を交わしました。

基調講演でNPO法人「かべ工房村」の藤原欣樹代表が



声掛けが 大事じゃね

「はぐくみ食堂」の担い手が登壇。一人暮らし高齢者の救急医療情報キットの地域挙げての作成、地域の行事参加、食を切口にした全世代交流の多様な事例を報告。地域に「つながり」を広げる「あいさつ」の大切さも再確認

「福祉はまちづくり」と直言。施設を拠点に多彩な地域発信や交流の場の提供を伝えました。続いて「瀬戸内ハイツミまもりネット」。「沼田日本語教室」「みらいちゃんショップ」



うれしいね

社フェスタがきっかけになったみらいちゃんショップは毎月第一、第三木曜日に一階交流スペースで開いています。はぐくみ食堂は第三日曜日に公民館で開店です。

認しました。作業所の自主製品を販売する「みらいちゃんショップ」も会場で展開。太田川学園や工房とも、ひだまりの家が来店、作業所のみなさんが立ち、喫茶スペースも設けました。五年前の福祉フェスタ

火山健康教室スタート

人生百年時代もげんきじゃけん！ 沼田老人いこいの家を会場に「火山健康(ひやまけんこう)教室」が八月から始まりました。

戸山・伴・大塚地域包括支援センターと安佐南区地域支えあい課が共催。健康寿命のアップを願う年四回の多彩な企画をします。第一回は、日比野病院の作業療法士、助金淳さんが「しゃんしゃんバランス体操」を指



夏休みは がんばったね

伴学区社協は、体操会場の運営に協力した中学生ボランティア二十二人に表彰状を贈ってねぎらいました。

朝のあいさつ運動を兼ねて夏休みに十三地区二十六会場を取り組んだラジオ体操会に計八百三十九人が参加しました。伴学区老人クラブ連合会が、エルモ助成金による参加賞として黄色い鉛筆を提供しました。「おはようラジオ体操」と刻銘し、とても使いやすい特製品です。



げんきじゃけん！

導。つまずきや転倒防止に筋力をつける大切さを参加者が一緒に体を動かし、楽しく学びました。

健康教室は、介護予防など高齢者の暮らし全般のノウハウについて学びの手引きをしています。定員は三十人。問い合わせ電話八四九一五八六〇(包括支援センター)

告知板 ラジオ体操

曲 伴小だより

伴小PTAの夏休み親子ふれあいタイム写真Ⅱは八月、二百人が校内清掃、体協や消防団、公衛協の五十人も参加しました。川本和弘PTA会長も「地域のみなさんと触れ合えば子どもの教育効果も増します」と歓迎です。



新学期を気持ち良く

十二月に五年ぶり開いた「昔遊びの会」の写真グラフを「こむねっぴろしま」に掲載します。

みんなの善意銀行

(敬称略)

★賛助会員

みんなの善意銀行の令和六年度賛助会員の登録数は十二月十日現在、個人会員(一口千円)が百四十五人。企業・団体(二万円)は二十三団体です。令和五年度賛助会員掲載の社協だよりに名簿漏れがあり、二団体を追加します。(株)アフィス沼田自動車学校Ⅱ三〇▽佐々木整形外科クリニックⅠ〇

▼香典返しにかえて

- (令和六年九月〜令和六年十二月)
町内会 寄付者御芳名 死没者名
奥畑 安藤 政文 光子
奥畑 引地 義範 愛子
三城田 川本 悦子 一之

地域愛で支え合い

福祉委員 2年ぶり研修会

伴社協の令和六年度福祉委員研修会が八月、沼田公民館で開かれ、各町内会の福祉委員二十六人をはじめ福祉の担い手が一堂に会しました。

二年ぶりの研修会に社協役員と町内会長、民生・児童委員ら来賓を合わせ五十三人が出席しました。自己紹介後、福祉委員に委嘱状を授与。福祉委員を永年務めた三城田町内会の田所和子さんと国光克恵さんに伴晴英会長が記念品を贈りました。



地域愛を弾き語り

戸山・伴・大塚地域包括支援センター社会福祉士の小田尚さんと介護支援専門員の樋野村恵子さんを招いた「福祉のまちづくりと地域ボランティア」の講演では、高齡化社会と近隣の支え合いの在り方を学習。地域への愛着心を伝える小田さんの弾き語り会場を盛り上げました。

遊びの学校にモルック

伴地区青少年健全育成連絡協議会は十月、奥畑町内会と共催で「奥畑遊びの学校」を奥畑集会所で開き、フィンランド発祥のモルックとボウリングを見学し三十人が楽しみました。モルックは、木製の棒を投げてボウリング



ストライク

健康づくりやコミュニケーションづくりの役立ち、青少年協が道具を購入しました。子ども会の解散が相次ぐ中、子どもの遊びの場づくりに町内会を応援。モルックやボウリングの道具も貸し出します。三月九日、エルモ事業として沼田公園でモルック、ボウリング大会、食事を柱に伴地区の児童対象の「遊びの学校」を計画しています。

通信 ハロウィン

小野地町内会の子どもの会主催「小野地ふれあい仮装まつり」が十一月二十三日、下伴集会所で開かれました。広陵Aソフトボールと伴体協ミニテニスチームがハロウィン企画に協力。仮装した五十人余に来場者が投票してグランプリを決めました。



どちらさまですか

懐かしい響き お祭り



パフォーマンス



ステージ



会場



大蛇



大蛇



火山館前で出発式

伴学区クリーン作戦は九月、連合会の全町内会と地域の十五団体から二百人を超えるみなさんが参加し、全十カ所で清掃活動をしました。火山館前には小学生から高齢者まで五十数人が集合。連合会の新川博会長の激励を受け安川河岸や県道、アストラムライン沿線道などの散乱ごみを拾いました。

西風新都を会場にした三十年前のアジア競技大会開催のもてなしが起源とされ、美化活動を通じた地域の絆づくりも担っています。

伴学区クリーン作戦

参加団体

- 伴学区町内会連合会（14町内会）
- 伴学区社会福祉協議会
- 伴学区老人クラブ連合会
- 伴地域女性会
- 伴小学校PTA
- 伴中学校PTA
- 伴学区公衆衛生推進協議会
- 沼田町商工会
- 安佐南地区保護司会・更生保護女性会
- 伴児童館・放課後クラブ
- 伴地区青少年健全育成連絡協議会
- 安佐南交通安全推進隊
- 学校法人広陵学園広陵高等学校
- 日本ボーイスカウト広島県連盟安佐第6団
- 伴学区民生委員児童委員協議会
- 伴学区体育協会



安川河岸を清掃

もてなしの心 引き継ぐ

広場は みんなが主役



出店



ボランティア



大抽選会

フィナーレ

防災・減災講演会

伴学区自主防災会連合会など主催の「身近な防災・減災講演会」が十月、沼田公民館で開かれ、各町内会から防災士ら約五十人が参加しました。

「体験から学ぼう」をテーマに初めての企画です。土砂災害の教訓を学んだ後、避難所での簡易ベッドの組み立て▽心臓に電気ショックを与えるAEDの使い方▽災害現場を仮想空間のVR映像で疑似体験の三つをグループ別に体験しました。臨場感あふれる学習で防災意識を高めました。



VRゴーグルで疑似体験

児童館まつり盛況



すきじゃけえ お好み焼き



「すきじゃけえ 広島」をテーマにした伴児童館まつり「伴っ子フェスタ」が十月開かれ、大勢の来場者を迎えました。

社協や民児協、青少協、留守家庭子ども会、伴っ子クラブの各団体が協力し、お好み焼きやドラゴンフライズなどを題材にしたアイデアあふれる体験型ゲームや工作コーナーを会場に展開。親子連れらを楽しませました。



夢・絆 未来をつなぐ伴のまち

第2回伴学区ふるさと祭り

「夢・絆 未来をつなぐ伴のまち」をテーマに伴学区町内会連合会主催の第二回伴学区ふるさと祭りが十一月十日、沼田合同庁舎前の沼田公園に子どもからお年寄りまで大勢の来場者を迎えて開かれました。

(二・三面写真掲載)



元気な伴へ乾杯

コロナ禍を乗り越え昨年初企画。新発足した伴学区エルモの理念であるコミュニケーションの継続発展を願い、元気あふれる祭典



三城田神楽団の「土蜘蛛」

を地域の各団体の結集で立派にやり遂げることができました。高校生や書道パフォーマンス、軽音楽、体操教室や舞踊団体の発表に続いて羽佐竹神楽団と三城田

発行元
伴学区町内会
連合会事務局



にぎわう出店会場

神楽団が出演。懐かしい音色と勇壮な神楽舞が古里の熱気を運びました。今回、出店者やボランティアを公募。十八団体が三十近いテントに出店、外国語学校や子ども会を含め二十人余のボランティアも運営を手伝いました。大抽選会では二十四の企業・団体が賞品を提供、主催・共催団体による餅まきで地域の夢と絆を紡ぎました。

共催 沼田公民館
協賛 NPO法人沼田まちづくり協議会、伴社協、伴学区エルモ
協力 伴学区体協、伴地域女性会、安佐南交通安全運動推進隊

× × ×
広島市の地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」伴学区に写真グラフを掲載。サイトはエルモを含め地域の各団体の活動を広く伝えていきます。

五時になったら帰ろうね

子どもたちが安心して遊べるために、伴学区エルモが十月、伴中央第一公園に時計を設置しました。



「公園に時計がほしい」との要望を受け、「子どもの安心・安全を守る事業」として市助成金(約十万円)を充てました。

太陽光発電、「伴学区エルモ」の銘板付き。エルモ時計が「五時になったら帰ろうね」のように子どもに優しく伝えてくれます。学内の各公園に設置できるように計画を進めます。



公園に「エルモ時計」